通常号定価１部100円（消費税込み）　年間購読料 3,000円（送料含む）　平成9年4月25日　第3種郵便物認可

The Democratic Party of Japan

民主 PRESS MINSHU

2012年11月
号 外

民主党熊本県第2区総支部
民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988（代表）
メール press@dpj.or.jp
URL http://www.dpj.or.jp

民主党熊本県第2区総支部
濱田大造事務所
〒860-0831 熊本市中央区八王寺町34-18
TEL.096-379-8506　FAX.096-379-8509
URL http://www.hamada-daizo.jp/
E-mail daizo@hamada-daizo.jp

あなたは、自己責任ですべてを処理する競争社会を支持しますか？
それとも、「人を大切にする政治」「共に生きる社会」を支持しますか？

民主党の3年3ヶ月の政治を皆様はどうお考えでしょうか？

民主党は政権を担って以降、国家予算をできるだけ直接、国民の皆様に届ける政策の数々を実行してまいりました。子ども手当、高校の授業料無償化、母子加算の復活、農業者に対しては戸別所得補償制度等々…集めた税金を直接国民の皆様に届ける仕組みの創設。

ではなぜ、直接給付型の政策が必要だったのでしょうか？

バブル崩壊後20年が経ちます。過去20年間そのほとんどの期間で、ほぼあらゆる職業・職種において日本人の所得（給料）は下がり続けました。しかしその一方で大企業は史上空前の最高益・好決算を重ねてきた、という事実があります。

ご承知の通り、民主党が政権を担うまで、新自由主義が時代を謳歌し、経済至上主義一辺倒の政治が行われていました。そしてグローバリゼーション・国際競争力の名のもとに、ほぼすべての業種で【規制緩和】が進められました。派遣労働・非正規社員が当たり前とされ、人はモノと同様に扱われる、そんな政治がありました。結果、働く人の3人に1人が非正規社員となりました。その数なんと2000万人。

私たちは競争の果てに途方もない【格差】を見たのでした。圧倒的な格差社会の出現。強者には優しく、弱者には冷たい政治。

そんな政治を止める必要があったのです。下がり続ける国民の所得を補填する必要があったのです。格差を正す必要があったのです。だからこそ、直接給付型の政策が必要でした。ベストな政策ではないかもしれませんが、時代が必要とした政策と言えたのです。

民主党の3年間の政治は、格差との闘いだったとも言えます。最終的に国民生活を守るのは、国家の役割なのです。

もし、民主党が民主党の掲げる政策を降ろすのなら、この国は本格的な競争社会に突入することを意味します。なぜなら多くの野党は、民主党の子ども手当は悪だと叫び、非正規でしか働けないのは、本人が努力を怠ったせいだと言い、離婚して生活が困るのは当然で、シングルマザーへの手当等は必要ないと断じ、戸別所得補償制度なんてもってのほか、と主張しているのですから。

私は、政治とは本来、真面目に働いているすべての人々のためにあるべきだ、と考えます。また政治力とは、困っている人々のために行使すべきものだ、と考えます。そして、それを実行できるのは、やはり民主党だけだと考えます。

万難を排して、【共に生きる社会】【人を大切にする政治】を推し進めていこうと思います。私はその先頭に立ちます。

PROFILE

1970年7月19日生まれ O型 本籍：熊本市　家族：妻と長男
熊本市立出水南小、中学校卒業、熊本高校卒業
94年　早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
99年　モスクワ大学経済学部ビジネススクール卒業
94～00年　日商岩井株式会社（現：双日）勤務
03～05年　松野信夫衆議院議員（当時）秘書
07～11年　熊本県議会議員
11年4月　熊本県議会議員選挙（9872票得票、284票差の17位次点で落選）
11年6月　㈱林田印刷入社　現在に至る

主な役職

民主党熊本県第2区総支部長
民主党熊本県連副代表
（株）林田印刷取締役

民主党の3年3ヶ月を振り返って

Q1：民主党の政治でもっとも誇れることを1つだけ掲げるとするなら？

A1：利権政治をしなかったこと

野田総理大臣のいう**古い政治**とは、公共事業一辺倒の政治を指します。民主党が政権を担当するまで、日本各地で**必要以上の公共事業**が行われていました。そしてその公共事業を落札した企業が、**その見返りとして政治家に政治献金を渡す**という構図がありました。結果、**取り返しのつかない程の借金**が積み上がったと言えます。民主党は、そんな政治は行いませんでした。民主党は、政治家による中抜き（ピンハネ政治）が起こらないように、集めた税金を直接国民に届ける直接給付型の政治を心がけました。

旧来型の間接給付型の政治⇒新しい直接給付型の政治へ

Q2：消費税をなぜ上げたんですか？マニフェスト違反じゃないの？

A2：税金が上がって嬉しい人はまずいません。

私もできることなら、上がって欲しくないと考えています。選挙のことを考えるなら、なお更です。しかし考えてみてください。この国は**もうほとんど限界と言えるまで借金をしてしまっています。**

国の借金にあたる日本国債の発行額は**約1000兆円。**これは国民1人あたり**約800万円**の借金にあたります。このほとんどの借金は、民主党が積み上げたものではありません。**前政権下の負の遺産です。**

また信じられない話ですが、日本は毎年、国家予算の半分近くを借金でまかなってきました。そして社会保障費（年金や医療費等）で足りない部分は赤字国債で補填し、**問題のほぼすべてを先送りする。**そんな**無責任な政治**が行われてきました。ちなみに日本国債（借金）を返していくのは、私たちの世代ではなくて、**子どもたちの世代**となっています。そんな無責任な政治に終止符を打つことが必要と言えます。

消費税増税は、頭を下げてでもご理解頂かなければなりません。いま、上げる必要はないと主張する方もいますが、国際金融市場・マーケットは、日本の先送りの放漫財政を許さないところまで来ています。欧州に見られる国債危機・ソブリンリスクは、放漫財政、先送り政治の成れの果てなのです。

先送りする無責任な政治と決別。民主党は、今と未来に責任を待ちます。

Q3：子育てや教育に関して聞かせてください。

A3：総じて若者世代は、所得が低くなっています。

また派遣労働などによる職の不安定さは晩婚化を招き、晩婚化は少子化をもたらしました。自公政権時代、少子化に歯止めが効かない状態でした。そこで民主党は、**社会全体で子ども達を育てていく新しい提案**をしました。それが、中学生まで支給する子ども手当であり、高校の授業料無償化であり、待機児童解消の試みであり、不妊治療の助成金や出産一時金の引き上げ等でした。結果、出生率は若干上向いています。

グローバルな時代、格差の広がりは他の先進国でも同じと言えます。格差を埋める手段として、出生率を上げる手立てとして、欧州ではいちはやく、子ども手当が導入されています（その額3万円前後）。また、先進各国では公立高校の授業料は無料であることが当たり前です。民主党が政権を担当するまで、**なぜそれらの政策が実現できていなかったか**を考えるべきです。

子どもは国の宝です。民主党はこれからも社会全体で子どもを育てていくことを提案します。

Q4：TPPへの対応はどうするの？

A4：世界中の国の中で、もっとも自由貿易の恩恵を受けてきたのは日本だとも言えます。

資源のない国なのに、ここまで発展してきたことを考えるなら、そのことは明らかです。日本人は、**世界中のどの国よりも新しいことに挑戦し続けてきた民族**です。だからこそ今があります。しかしそんな日本でさえ、久しく閉塞感が漂っています。だからこそ、内向きにならずに、国家としての新たな挑戦を試みること。**国を開いていく試み**が必要とも言えます。もちろんTPPは、農業に限らず、医療、金融、保険とあらゆる分野を対象としています。**本当に国益に適うことは何なのか。**各分野の皆様のご意見を尊重し慎重に進んでまいります。国益に適うなら、大いに国を開き、適わないと判断するなら、参加は見送る。柔軟な政治姿勢が大切と考えます。

Q5：国会議員の世襲についてどう思いますか？

A5：野田総理大臣は、民主党は世襲禁止を貫徹すると断言されています。

私は、野田総理大臣の方針、政治姿勢を大いに支持します。

The Democratic Party of Japan
民主党　今と未来に、誠実でありたい

これからこの国は、大きな決断をいくつもしていかなければなりません。

どの問題も、どちらが正しい、どちらが間違っていると決めつけにくいものばかりです。解決する魔法なんてありません。

地道にねばり強く一生懸命に。そして、できるだけ多くの人がうなずきあえる一点を見つけ出す。私たちは説明を尽くし、議論を尽くし、最良の決断をして参ります。

そして、今と未来に、誠実でありたいと思います。

はまだ大造（だいぞう）ってどんな人？

学生時代は、早大探検部で
山登り川下り。インド放浪の経験あり。
世界は広いなぁ～

INDIA

商社マン時代は
世界のビジネスマンと
仕事をしました。
意外と国際派

苦労人です。
熊本県議会議員を
4年間務めました。
落選経験あり。
熊本が大好きです。

松野信夫先生（参議）
の下で学びました。

ロシア語が
ちょこっと
話せます。

現在イクメン中
子どもと遊ぶのが大好き。

飲んで話すのが大好き！
ただ今、減量中

地盤・看板・カバンなし。世襲でもない。
だからガンバルしかない。

1コイン（1口：500円）からできる政治参加!!

濱田大造の政治活動は、皆様からの寄附金（個人献金）で成立しております。
何卒お支え下さるようお願い申し上げます。
※献金頂いた方には、定期的に会報等をお届け致します。
ゆうちょ銀行　振込口座番号 01780-4-66221　濱田大造後援会

私は闘う!

濱田大造事務所　〒860-0831 熊本市中央区八王寺町34-18
TEL.096-379-8506　FAX.096-379-8509　E-mail daizo@hamada-daizo.jp

PRESS　MINSHU